

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a:大変良くできている    b:できている    c:あまりできていない    d:できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み
1 社会福祉協議会の経営理念、経営方針について					
	(1) 経営理念を策定しているか				
	(全体診断の理由)				
	① 定款とは別に、理念がある。	住民に組織の姿勢を示すため、また役職員が組織の目的を共通に理解するための理念を明文化しているか。			
	② 社会福祉法人としての使命を尊重した理念となっている。	社協は、市町に一つ設立することができる社会福祉法人としての使命を意識した内容を盛りこんでいるか。			
	③ 策定の際に、役職員がかかわっている。	社協事業のみちしるべとなる理念を策定するにあたり、より多くの役職員がかかわることを心がけたか。			
	④ 役職員に説明されている。	事業計画や日常業務の判断基準にも反映されるよう、役職員に十分説明・理解されているか。			
	⑤ 住民にわかりやすく説明している。	地域に必要な組織のひとつとして認識していただけるよう、組織の理念を住民にもわかりやすく説明しているか。			
	⑥ 役職員が理解し、日々の業務に反映されている。	事業計画や日常の業務にも経営理念が反映され、組織全体で取り組んでいるか。			

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a: 大変良くできている    b: できている    c: あまりできていない    d: できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み
	(2) 経営理念に基づく経営方針が策定しているか				
	(全体診断の理由)	① 毎年度の事業計画とは別に、中期的な経営方針がある。	経営方針：具体的な計画とは異なり中長期的なビジョン（方針）を指す（ただし、具体的目標など計画化されたものを含む） 理念をさらに具現化した経営方針を策定し、中期的な計画の策定や部門ごとの取り組みの指針としているか。		
		② 経営方針の策定の際に、役職員がかかわっている。	中期的に進むべき方向を示す経営方針を策定するにあたり、より多くの役職員がかかわることを心がけたか。		
		③ 役職員に説明されている。	事業計画や日々の業務の判断基準にも反映されるよう、役職員に十分説明・理解されているか。		
		④ 役職員の日々の業務に反映されている。	経営方針が役職員に十分理解され、事業計画や日常の部門ごとの取り組みにも十分に反映されているか。 ※単年度の事業計画に反映され、日々の業務に反映されているか。		
		⑤ 住民に説明されている。	理念や地域の課題に即した取り組みとして住民にもわかりやすく説明し、理解を得る努力をしているか。		

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a:大変良くできている    b:できている    c:あまりできていない    d:できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み
	(3) 「社協発展強化計画」(経営計画)を策定しているか				
	(全体診断の理由)	① 社協発展強化計画を策定している	社協組織の今後の発展のための具体的な計画を策定しているか。		
		② 策定に役職員がかかわっている。	社協が住民の期待に応えられる組織として発展するために、強化策についての検討をより多くの役職員とともに検討を重ねたか。		
		③ 具体的な目標を定めている。	評価・分析も視野に入れ、具体的な目標を定めているか。		
		④ 目標達成に向けての進行管理(評価、見直し)を定めている。	目標達成に向け、(年度ごと等)進行管理を行っているか。		
		⑤ 計画の見直しについて具体的な仕組みを定めている。	時代や地域のニーズに柔軟に対応できるよう、計画の見直しがなされる仕組みがあるか。		
		⑥ 役職員に説明している。	目標達成を目指し、組織的な取り組みとして役職員に認識させているか。		
		⑦ 住民に周知している。	地域との協働を意識し、社協の取り組みを広く住民に理解、協力を求めようとしているか。		

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a:大変良くできている    b:できている    c:あまりできていない    d:できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み
2 組織体制について					
2-1 職員について					
(4) 職員研修を一元的に推進していくための体制を整備しているか					
(全体診断の理由)					
	① 職員研修を実施している。	職員研修を実施している。	組織体制の整備を視野に入れ、職員研修を必要に応じて実施しているか。		
	② 研修予算を計上している。	研修予算を計上している。	研修の実施が組織的に取り組まれている指標のひとつとして、予算計上がなされているか。		
	③ 組織として目的意識を持った研修計画を策定している。	組織として目的意識を持った研修計画を策定している。	組織が求める人材像の一端を示し、目的意識を持った研修計画が策定されているか。		
	④ 研修の見直し(評価・分析)を行っている。	研修の見直し(評価・分析)を行っている。	時代の流れや組織の変革に伴い、研修内容の見直し(評価・分析)を定期的に行っているか。		
	⑤ 研修担当職員を配置している。	研修担当職員を配置している。	研修担当職員を配置し、組織として継続的に取り組んでいるか。		
	⑥ 外部研修の成果を職場全体に活かすための具体的な方法を講じている。	外部研修の成果を職場全体に活かすための具体的な方法を講じている。	組織の代表として参加した外部研修の研修成果を職場全体に波及させるための取り組みがなされているか。		

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a:大変良くできている    b:できている    c:あまりできていない    d:できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み
	<b>(5) 「人材育成計画」を策定しているか</b>				
	(全体診断の理由)	① 職員一人ひとりについて経験年数や技量に応じた「人材育成計画」を策定している。	個々の職員の長所や能力に応じた研修計画となっているか。		
		② 計画を役職員に説明している。	計画の目的、内容が役職員間で十分共通理解されているか。		
		③ 計画を職員研修に活かしている。	人材育成計画と職員研修計画が一致しているか。		
		④ 計画に基づいた人事管理を実施している。	育成計画に基づき、人事上必要な措置(研修、異動、昇格等)が実施されているか。		
		⑤ 臨時・嘱託職員についての研修計画がある。	臨時・嘱託職員に対する研修計画をもち、計画的な人材育成を図っているか。		
		⑥ 実習生の受入体制を整備している。	実習生の受入体制を整備し、地域の人材育成にも積極的に寄与しているか。		
	<b>(6) 常に適材適所な人の配置を実現しているか</b>				
	(全体診断の理由)	① 就業規則に異動の有無等、配置規準を明記している。	配置転換を円滑に実施するため、異動の有無等を伝えているか。		
		② 組織の活性化を目的として配置転換を行っている。	組織の活性化と人材育成を目的に配置転換が実施されているか。		
		③ 人材育成を観点に入れた配置転換を行っている。	経験年数に応じた役割が果たせるような観点からの配置転換を行っているか。		
	<b>(7) 自己申告制度を実施しているか</b>				
	(全体診断の理由)	① 制度の目的や効果を職員が正しく理解している。	制度の目的を職員が正しく理解し、職員が十分に自己主張する機会として捉えられているか。		
		② 結果を人事管理に反映している。	制度が形骸化していないか。目的に沿って、人事管理への反映がなされているか。		

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a:大変良くできている    b:できている    c:あまりできていない    d:できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み
	<b>(8) 人事考課を実施しているか</b>				
	(全体診断の理由)	① 評価の目的や効果を職員が正しく理解している。	制度の目的を職員が正しく理解し、導入の効果が最大限に発揮されるよう取り組まれているか。		
		② 客観的な基準・方法によって実施している。	評価の基準・方法が明確にされ、公平・公正に実施されているか。		
		③ 結果を職員へフィードバックしている。	評価の透明性を確保するため、職員への説明責任が果たされているか。		
		④ 人材の育成に活用している。	職員個々の強み、弱みを分析し、人材育成に役立っているか。		
		⑤ 人事異動、人事処遇に活用している。	考課結果(職員のやる気、能力の発揮度)に応え、異動や処遇に活用しているか。		
	<b>(9) 給与体系の構築を図っているか</b>				
	(全体診断の理由)	① 職務・職責や勤務実態に応じた給与体系がある。	職務・職責や勤務実態を反映できるような給与体系があるか。		
		② 給与体系を職員が十分理解している。	職務・職責や勤務実績に応じた給与体系が構築され、職員にも公開されているか。		
		③ 職員のモチベーション高揚につながっている。	職務・職責、能力の発揮度等を考慮し構築され、職員のモチベーション高揚に寄与しているか。		
	<b>(10) 非正規職員の採用基準を定めているか</b>				
	(全体診断の理由)	① 非正規職員の採用基準・処遇基準を明確にしている。	非正規職員の有効活用を推進するため、採用に関する基準を設けているか。		
		② 社会福祉協議会の理解(社会福祉協議会の職員としての意識)を図るための取り組みをしている。	社協職員としての意識醸成を図るため、必要な施策を講じているか。		

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a : 大変良くできている    b : できている    c : あまりできていない    d : できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み
	<b>(11) 働きやすい労働環境づくりに配慮しているか</b>				
	(全体診断の理由)	① 定期的な個別面接を行っている。	個別面接を実施し、職員個々の状況の把握や配慮に努めているか。		
		② 個別面接では、職員の意欲や問題意識の把握を行っている。	面接が形骸化したものでなく、意欲・問題意識の把握や醸成を図るものとなっているか。		
		③ 上司が職員の適正を把握する方法を持っている。	自己申告や個別面接等、職員の適正を把握しようとする仕組みがあるか。		
		④ 職員の意見を集約・検討する仕組みがある。	個別の意見を集約し、働きやすい労働環境づくりに取り組むために努力しているか。		
		⑤ 会議などで発言しやすい雰囲気づくりを行っている。	会議が形骸化したものになっていないか、隠れた要望や不満なども発言しやすいような雰囲気づくりに努めているか。		
	<b>(12) 業務を円滑に進めるための意思決定ができているか</b>				
	(全体診断の理由)	① 各業務について、判断を行うのは誰かを明確にしている。	判断の基準、判断者が明確にされ、業務を円滑に進める体制を構築しているか。		
		② 権限について検証を行う場や仕組みがある。	業務をさらに円滑にすすめるため、権限についても検証を行っているか。		
		③ 各業務について、職員に説明されている。	“聞いてない”、“知らなかった”がない様、情報の流れと体制について職員に説明されているか。		
		④ 上司が部下に対してスーパーバイズを行っている。	上司が部下に適切にスーパーバイズを行っているか。		
		⑤ 上司と部下の間で業務の到達点を明確にした上で、業務を進めている。	業務の到達点を明確にし、業務の無理・無駄を生じさせないようにしているか。		

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a : 大変良くできている    b : できている    c : あまりできていない    d : できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み
2-2 役員について					
(13) 役員の役割を理解する機会があるか					
(全体診断の理由)		① 役員研修会の機会を確保している	社協役員の役割について理解してもらおうための機会を確保しているか。		
		② 研修会に役員が積極的に参加している	役員が研修会に積極的に参加し、役員の役割についての理解を図っているか。		
		③ 役員が社会福祉協議会の使命について理解している。	役員が社会福祉協議会の使命や役割を理解しているか。		
		④ 役員に、社協情報や全国的な動き等の情報を伝達している。	社協が、役員に対し情報伝達（機関誌や報告書の送付等）を行っているか。		
(14) 役員の責任が明確にされているか					
(全体診断の理由)		① 役員が責任を理解している。	社協役員に求められる責任を理解しているか。		
		② 事業担当理事を設置している。	役員の担当制があるか。		
		③ 職員とのコミュニケーションを取る機会を設けている。	職員と役員が事業について協議する機会をもっているか。		

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a:大変良くできている    b:できている    c:あまりできていない    d:できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み
(15) 理事会・評議員会が十分に機能して、実質的な協議が行われているか					
	(全体診断の理由)	① 経営責任をとれるような役員構成や選出基準をもっている。	経営責任等を取れるような役員構成(経営に関するアドバイスをもらえ人の参画)等になっているか。		
		② 理事会を年4回以上開催している。	理事が十分な議論をし社協の経営に携わっているか。		
		③ 評議員会を年2回以上開催している。	評議員会を年2回以上開催し、社協を構成する団体等の意見を反映した事業展開を図っているか。		
		④ 出席率は90%以上となっている。	理事・評議員が積極的に会議に参加しているか。		
		⑤ 事前に役員会資料を送付するなどして、社協役員としての発言が得られるような工夫をしている	役員が理事会等で発言できるように、事前に資料を送り目を通していただくような工夫をしているか。		
		⑥ 経営方針、事業計画にしたがって事業が執行されているかについて協議し、適宜確認している。	会長等役員に適宜事業の執行状況を説明し、意見をもらうようにしているか。		
(16) 役員会議(委員会・部会など)が設置されているか					
	(全体診断の理由)	① 役員会議(委員会、部会など)が設置されている。	役員を構成メンバーとした委員会や部会があるか。		
		② 検討内容と結果を組織全体が理解している。	役員会議の検討内容等は、管理職以外の職員にも報告、周知しているか。		
		③ 理事会や評議員会とは別の委員会、部会が常に設置されている。	役員が組織や事業について意見を出し検討するしくみが実質的に機能しているか。		
2-3 組織機能、活動基盤の強化について					
(17) 法人(組織)機能の強化を意図した組織づくりに努めているか					
	(全体診断の理由)	① 組織内(本部と支部等)の組織機構が具体的に明確になっている。	社協組織内の組織機能について明文化されているものがあるか。		
		② 職務内容、範囲を明確にした職務分掌表を整備している。	職務内容を明記した職務分掌表があるか。		

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a : 大変良くできている    b : できている    c : あまりできていない    d : できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み
	(18) 会員構成のチェックが行われているか				
	(全体診断の理由)	① 「社会福祉法人モデル定款」に定められた会員構成の基準に基づいた会員構成となっている。	定款とは別に独自の「会員規程」を整備しているか。		
		② 社協組織にふさわしい会員構成となっている。	社会福祉法において明記された広い構成団体による会員制度となっているか。		
	(19) 他分野との協働を図っているか				
	(全体診断の理由)	① 福祉以外の分野（医療、保健、法曹、企業など）との協働により活動・事業・サービスを実施している。	福祉以外の分野と協働して、具体的な活動・事業・サービスがあるか。		
		② 地域の特定非営利活動（NPO法人）を把握している。	市町内で活動しているNPO法人について、活動内容等を把握しているか。		
		③ 他分野へ情報提供をしている。	年1回以上は、福祉分野以外の団体に情報提供をしているか。		
		④ NPO法人設立や他分野の組織化の支援をしている。	NPO法人の設立等、他団体から組織設立の相談等に応じ支援しているか。		
		⑤ 他分野の活動継続・発展のための支援をしている。	他分野の活動継続や発展のための相談に応じ支援しているか。		
	2-4 透明性の確保について				
	(20) 情報公開の仕組みを整備しているか				
	(全体診断の理由)	① 社協だよりを発行している。	社協だよりを年4回以上は発行しているか。		
		② 社協パンフレットを作成している。	社協を住民等へ紹介する独自のパンフレットを作成しているか。		
		③ ホームページを開設している。	社協独自のホームページを公開しているか。		
		④ 広報担当者、担当部門を設置している。	広報担当者を配置しているか。（他業務との兼務可）		

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a:大変良くできている    b:できている    c:あまりできていない    d:できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み
	<b>(21) 個人情報保護の取り組みをしているか</b>				
	(全体診断の理由)	① 個人情報保護や守秘義務についての規程を整備している。	個人情報保護や守秘義務についての規程があるか。		
		② 個人情報を適切に保護・管理している。	個人情報を適切に保護・管理できているか。		
		③ 役職員が理解している。	役職員に個人情報保護について説明する等し理解を促しているか。		
		④ 守秘義務について職員から誓約書をとっている。	守秘義務について、各職員から誓約書をとっているか。		
	<b>(22) 倫理規程が徹底がされているか</b>				
	(全体診断の理由)	① 倫理規程を整備している。	倫理規程があるか。		
		② 倫理規程を役職員が理解している。	役職員に倫理規程について説明する等し理解を促しているか。		
		③ 倫理規程の遵守についてチェック体制をもっている。	倫理規程に基づいた行動がとれているかチェックする体制をもっているか。		
	<b>(23) 苦情受付、対応体制を整備しているか</b>				
	(全体診断の理由)	① 苦情解決の体制を整備している。	苦情を解決する体制を整備しているか。		
		② 苦情解決体制を役職員が理解している。	役職員に苦情解決の体制について説明する等し理解を促しているか。		
		③ 苦情解決体制を住民に説明している。	広報誌等を活用し、住民に苦情解決の体制について説明するしているか。		
		④ 住民からの苦情について、その内容と対応策について公表している。	広報誌等を活用し、住民からの苦情について、その内容や対応策を公表しているか。		
		⑤ 第三者委員を設置している。	第三者委員等の外部の人から社協組織や事業について意見を聞く機会を設定しているか。		

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a:大変良くできている    b:できている    c:あまりできていない    d:できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み
	(24) 住民（会員）の意見を幅広く受け止める仕組みを整備しているか				
	(全体診断の理由)	① 住民（会員）の意見を幅広く受け止めることを検討する委員会がある。	住民の意見やニーズを受け止めるための委員会等を設置しているか。		
		② 委員会に公募委員が参画している。	住民の意見やニーズを受け止めるための委員会等の委員に公募委員も参画しているか。		
		③ 意見箱を設置している。	住民の意見やニーズを受け止めるために意見箱等を設置しているか。		
		④ テーマに基づくアンケートを実施している。	住民の意見やニーズを把握するためのアンケートを実施しているか。		
		⑤ 福祉モニターを設置している。	社協の事業やサービス等について意見をいただく福祉モニター等を設置しているか。		

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a:大変良くできている    b:できている    c:あまりできていない    d:できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み
3 財政について					
(25) 社協会費や寄付等の必要性が明確にされているか					
	(全体診断の理由)	① 社協会費の必要性が明確にされている	社協会費の必要性について住民に説明する資料等があるか。		
		② 役職員が理解している。	社協会費の必要性について、役職員が理解できるような説明等をしているか。		
		③ 会費額の毎年度の数値目標を設定している。	毎年度の会費額の数値目標を設定し目標額達成に向けた取り組みをしているか。		
		④ 住民会費について住民への説明を十分行い、理解、合意が得られている。	住民会費について、広報誌等を活用し理解、合意が得られるような説明をしているか。		
		⑤ 賛助会員を募集している。	年1回以上、賛助会費について広報誌等を活用し募集しているか。		
		⑥ 役職員が企業・団体を個別訪問している。	役職員が、過去1年間で、企業・団体等を個別訪問し、寄付金等の依頼をしたか。		
		⑦ 寄付金について住民に説明している。	年1回以上、寄付金について広報誌等を活用し募集しているか。		
		⑧ 寄付金について企業・団体へ説明している。	年1回以上、寄付金について企業・団体に向けて説明し募集しているか。		
		⑨ 指定寄付の要綱を定めている。	住民の意思を尊重した寄付金活用を進めるため、指定寄付の要綱を定めているか。		
		⑩ 住民会費の用途を明確にしている。	年1回以上、住民会費の用途を広報誌等で報告しているか。		
		⑪ 寄付金の用途を報告している。	年1回以上、寄付金の用途を広報誌等で報告しているか。		

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a : 大変良くできている    b : できている    c : あまりできていない    d : できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み
	<b>(26) 財務管理体制が整備されているか</b>				
	(全体診断の理由)	① 内部牽制体制を確立している。	内部でチェックをするための体制が定められているか。		
		② 外部監査制度を導入している。	内部監査とは別に、外部監査を受けているか。		
		③ 基本財産・運用財産を適正に管理している。	規程に基づいて、基本財産・運用財産を管理しているか。		
	<b>(27) 公費補助について、社会的必要性を行政に対して説明することができるか</b>				
	(全体診断の理由)	① 公費補助を社協が受けること理由を役職員が理解している。	役職員が、社協組織の社会的役割を理解し公費補助を受けることの必要性を行政に説明できるか。		
		② 社協側から行政に公費補助獲得に向けた事業の提案をしている。	過去3年間で社会的な課題解決に必要な事業について行政に提案したことがあるか。		
	<b>(28) 自主財源の確保に向けて取り組んでいるか</b>				
	(全体診断の理由)	① 会員の加入率をあげる取り組みを行っている。	会費の加入率をあげるための具体的な取り組みがあるか。		
		② 事業収入の確保に向けて取り組んでいる。	公費の他に各種民間助成等に公募するなどし事業収入確保に向けた具体的な取り組みがあるか。		
		③ 共同募金の趣旨を役職員が理解している。	共同募金の趣旨について役職員に説明をし理解を促しているか。		
		④ 共同募金の使途を住民に説明している。	共同募金の配分金で実施した事業について、広報誌等を活用し住民に報告しているか。		
		⑥ 共同募金の配分金は、先駆的、モデル的事業に活用し、取り組んでいる。	役職員が共同募金の趣旨を理解し地域の現状に沿った事業について、共同募金配分申請をしているか。		
		⑦ 共同募金の支会長と社協会長が兼務となっていない。	共同募金の配分の透明性を担保するために、支会長と社協会長が兼務となっていないか。		

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a:大変良くできている    b:できている    c:あまりできていない    d:できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み
	<b>(29) 支出における人件費の割合について検討を行っているか</b>				
	(全体診断の理由)	① 人件費補助等について行政の理解を求めている	社協の社会的な役割を明確にし人件費補助について理解を求めているか。		
		② 介護保険事業や単独事業により人件費確保に努めている。	介護保険事業や単独事業により人件費確保に向けた具体的な取り組みをしているか。		
		③ 委託事業や補助事業を受ける際に人件費を確保している。	委託金や補助金を受ける際に人件費相当の賃金を確保しているか。		
		④ 事業量と人員のバランスを検討し、適正な人員配置をしている。	事業量と人件費配置のバランスを検討した上で、人員配置を行っているか。		
		⑤ 支出のうち人件費の占める割合は50%以下である。	総支出のうち人件費の占める割合は50%以下か。		
	<b>(30) 先駆的な事業を行うための予算を確保しているか</b>				
	(全体診断の理由)	① 新規事業等、先駆的な事業を行う予算が確保できている。	年1つ以上、新規事業等の先駆的な事業を行う予算があるか。		
	<b>(31) 財政について中長期的な展望があるか</b>				
	(全体診断の理由)	① 財政についての中長期的な見通しを立てている。	今後の財政状況の見通しが把握し、その対策をたてているか。		
		② 中長期的な財政の見通しを数値化している。	今後の財政状況について、具体的に数値化したシュミレーションがあるか。		
		③ 客観的な現状を分析した上で、財政についての展望となっている。	数値化した客観的な現状分析をもとに、今後の対策や展望をたてているか。		

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a:大変良くできている    b:できている    c:あまりできていない    d:できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み
<b>4 活動・事業の実施について</b>					
4-1 活動・事業の実施について目的、社協らし活動・事業展開					
<b>(32) 活動・事業・サービスの目的を明確にしているか</b>					
(全体診断の理由)		① 到達点を定めている。	地域福祉活動計画等に、到達目標や達成年度を定めているか。		
		② 計画(P)、実行(D)、確認(C)、改善(A)のサイクルを踏まえて実施している。	到達点に向けた進行管理を行っているか。		
		③ 定期的に見直し(評価・分析)をしている。	進行管理した結果についての評価、見直しを行っているか。		
<b>(33) 住民ニーズを原則とした活動を展開しているか</b>					
(全体診断の理由)		① 調査などを通じ、住民の要望・福祉課題を把握している	過去3年間で、調査等を実施し住民の要望等を把握したことがあるか。		
		② 住民のニーズに基づく活動を第一にすすめている。	過去3年間で、住民ニーズから生まれた活動があるか。		
<b>(34) 住民活動主体を原則とした活動をしているか</b>					
(全体診断の理由)		① 住民の福祉への関心を高めるような働きかけをしている。	過去3年間で、住民の福祉への関心を高めることを目的とした事業を実施したことがあるか。		
		② 住民の自発的・主体的参加による活動の場づくりをすすめている。	過去3年間で、住民の自発的・主体的参加による活動の場をつくったことがあるか。		
<b>(35) 民間性を発揮した活動を実施しているか</b>					
(全体診断の理由)		① 住民のニーズにマッチした事業やサービスを開拓している。	過去3年間で、住民のニーズに応えるための事業の検討を行ったことがあるか。		
		② 住民からのニーズや課題にすぐに対応する姿勢を常にもっている。	住民からの相談等にはすぐに対応するように職員間で徹底されているか。		
		③ 個々の状況に応じて、柔軟に対応している。	個々の状況に応えるような対応をしているか。		

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a : 大変良くできている    b : できている    c : あまりできていない    d : できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み
	<b>(36) 公私協働の原則にのっとった活動を展開しているか</b>				
	(全体診断の理由)	① 社会福祉、保健・医療、教育、労働等の行政機関と連携を図っている。	社会福祉、保健・医療、教育、労働等の行政機関との連携がとれるような関係づくりに努めているか。		
		② 他の民間団体等と連携を図っている。	他の民間団体との連携がとれるような関係づくりに努めているか。		
		③ 行政や他の団体との具体的な協働事業がある。	行政や他の団体と協働で実施している事業があるか。		
	<b>(37) 専門性に裏付けされた活動をしているか</b>				
	(全体診断の理由)	① 住民の福祉活動の組織化をしているか。	過去3年間で、住民の福祉活動等に関する組織化をしたことがあるか。		
		② ニーズ把握調査等をしているか。	過去3年間で、ニーズ把握のための調査や座談会等を開催したことがあるか。		
		③ 対人援助職として個別の相談に対応し支援しているか。	過去3年間で、個別の相談に対応し支援に結びつけたことがあるか。		

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a:大変良くできている    b:できている    c:あまりできていない    d:できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み
	(38) 「地域福祉活動計画」を策定しているか				
	(全体診断の理由)				
		① 地域福祉活動計画を策定している	現在進行している地域福祉活動計画があるか。		
		② 具体的な数値目標が設定されている。	地域福祉活動計画に、具体的な数値目標を設定したか。		
		③ 計画に行政の役割と民間(社協、関係機関・団体、住民)レベルの役割が明確になっている。	行政と民間(社協、関係機関、団体)等の役割分担が明文化されているか。		
		④ 策定委員会を設置した。	策定委員会を設置し、計画を策定したか。		
		⑤ 策定委員会に、社協役員も参画している。	策定委員会には、役員も参加するしくみをとったか。		
		⑥ 策定委員会は、広く関係機関・団体、行政、地域住民により構成した。	策定委員会のメンバーは、関係機関や団体、行政、住民により幅広いメンバー構成としたか。		
		⑦ 職員でのワーキングチーム(作業部会、勉強会)を実施した。	地域福祉計画の策定過程で、職員のワーキングチームを結成したか。		
		⑧ 住民座談会を開催した。	地域福祉活動計画策定過程で、住民の声をキャッチするための座談会を開催したか。		
		⑨ アンケートや聞き取り調査を実施した。	地域福祉活動計画策定過程で、住民の声をキャッチするためのアンケート調査や聞き取り調査を実施したか。		
		⑩ 計画の進行管理、見直し(評価・分析)するシステムを作っている。	計画の進行管理、見直しについて具体的なシステムをつくっているか。		
		⑪ 「地域福祉活動計画」の策定を通して、「地域福祉計画」の策定を行政に働きかけた。(あるいは、一体的に策定した。)	行政の地域福祉計画と連動した内容になっているか。		

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a : 大変良くできている    b : できている    c : あまりできていない    d : できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み	
4-2	ふれあい・いきいきサロン					
	(39) 社協の職員がサロンの必要性、目的、意識を共有しているか					
	(全体診断の理由)	①	社協としてサロンを普及させていく目的を職員が明確にもっている。	サロンを普及させることで地域がどのようになるかの将来ビジョンをもっているか。		
		②	サロンの内容を理解できるリーフレットやパンフレットなどを作成している。	サロンを知らない住民等への啓発パンフレットを作成しているか。		
	(40) サロンの現状を把握する手法をもっているか					
	(全体診断の理由)	①	アンケートなどを実施し、担い手の声やサロンの現状や課題点を把握している。	サロンの担い手や参加者の現状を把握しているか。		
		②	必要に応じてサロンに出向いている。	社協職員が必要に応じてサロンに出向き様子を把握しているか。		
		③	サロン参加、実施により、参加者、地域がどのように変化したか、効果測定をしている。	サロンが地域にできたことによる効果を検証したことがあるか。		
	(41) サロンの促進を図っているか					
	(全体診断の理由)	①	社協広報誌等で紹介している。	サロンを知らない住民等へサロンの良さを伝え広めるための啓発をおこなっているか。		
		②	高齢者サロンだけでなく、障がい児者、子育て中の親子、誰でも参加できるサロンなど、様々な方々を対象にしたサロンを提案している。	様々な方々を対象にしたサロンの立ち上げを提案しているか。		
		③	連絡会・交流会を開催している。	サロンの担い手等の連絡会、交流会を開催しているか。		
		④	研修会を開催している。	サロンの担い手を対象にした研修会を開催しているか。		
		⑤	サロンの個別課題に対応している。	サロンの担い手や参加者からもちこまれた課題に対応しているか。		

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a : 大変良くできている    b : できている    c : あまりできていない    d : できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み	
4-3	小地域見守りネットワーク活動					
	(42) 小地域見守りネットワーク活動の実態を把握しているか					
	(全体診断の理由)	①	支援を必要とする方の数を把握している。	支援を必要とする方の対象者の人数を把握しているか。		
		②	小地域見守りネットワークの数を把握している。	見守りネットワークを結成している数を把握しているか。		
		③	小地域見守りネットワーク対象者の課題を把握している。	見守りネットワークを結成している対象者が抱える問題を把握しているか。		
	(43) 幅広く、重層的な小地域見守りネットワーク活動を展開しているか					
	(全体診断の理由)	①	対象者を限定せず、支援が必要な人に対してネットワーク活動をおこなっているか。	年齢や状態別にしぼられず、支援が必要な人に対してのネットワーク活動を行っているか。		
		②	福祉関係者のみではなく、一般住民の協力を得ている。(自然な形の助け合いを活用している。)	見守りネットワークに、民生委員、福祉員以外の住民にも参画してもらっているか。		
		③	見守りあう、見守られあうネットワーク活動を進めている。	要支援者の活躍の場を引き出すようなネットワーク活動をおこなっているか。		
		④	見守りあう、見守られあうネットワーク活動を進めるための戦略(需給調整会議、マップづくり、こねつと会議)等をもっている。	地域の要援護者を把握する手法を持っているか。		
⑤		緊急時、災害時の対応に関するマニュアル(方策をまとめたもの)などを作成している。	一般住民を対象とした支援方法を検討しているか。			

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a : 大変良くできている    b : できている    c : あまりできていない    d : できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み
	<b>(44) 関係機関・団体との連携が取れているか</b>				
	(全体診断の理由)	① 福祉員との連携を図っている。	福祉員を見守りネットワークのメンバーとして位置づけているか。		
		② 民生委員・児童委員が進める「ふれあいのネットワークづくり運動」との連携を図っている。	民生委員が実施している「ふれあいのネットワークづくり運動」と連携をとっているか。		
		③ 老人クラブが進める「友愛訪問活動」との連携を図っている。	老人クラブの「友愛訪問活動」と連携をとっているか。		
		④ 自治会長との連携を図っている。	自治会長からの情報等を得る機会をもっているか。		
		⑤ 地域で解決できないニーズは、関係機関へつなぐシステムができている。	見守りネットワークの中で解決が難しい状況には、適宜関係機関と連携をとっているか。		
	<b>(45) 継続的な活動展開を図っているか</b>				
	(全体診断の理由)	① 要支援者の個別台帳を作成している。	要支援者の状況等を記録する台帳をつくっているか。		
		② こねっと会議(需給調整会議)等話し合いの活動を行っている。(定期的な活動の見直しを行っている。)	要支援者について定期的に検討する場をもっているか。		
		③ 情報交換会や研修会を開催している。	見守りネットワークの充実を図るために、支援者の研修を行っているか。		

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a : 大変良くできている    b : できている    c : あまりできていない    d : できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み
4-4	住民の話し合い活動(住民座談会)、福祉関係者の話し合い活動(こねっと会議)				
	(46) 住民座談会を開催しているか				
	(全体診断の理由)	① 意義や目的、進め方を職員が理解している。	住民の話し合いの場をもつ意義や目的等を住民に説明できるか。		
		② 定期的に開催している。	住民座談会を定期的に開催するしくみとなっているか。		
		③ 行政と連携して開催している。	行政職員も座談会に参加してもらっているか。		
		④ 幅広い世代が参加できるような方法で実施している。	幅広い世代が参加できるよう、開催時間や開催曜日等の工夫をしているか。		
		⑤ 社協の理解のための啓発活動を実施している。	社協活動に関する分かりやすい資料等を作成し、住民に説明しているか。		
		⑥ 意見の出しやすい雰囲気づくりを行っている。	多くの参加者から意見を引き出せるような工夫をしているか。		
		⑦ 話し合いで出された生活ニーズを新たな活動へとつなげるための方法・方策を実施している。	住民とともに、ニーズを新たな活動につなげたことがあるか。		
		⑧ 話し合いで出された生活ニーズを整理し、行政等の関係機関へ提言している。	行政等の関係機関に、住民座談会で出されたニーズを提言したことがあるか。		
		⑨ 話し合いの実施状況を住民に紹介している。	広報誌等を活用し、住民座談会の様子を報告しているか。		

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a:大変良くできている    b:できている    c:あまりできていない    d:できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み
	<b>(47) 需給調整会議やこねっと会議の開催を推進しているか</b>				
	(全体診断の理由)	① 意義や目的、進め方を職員が理解している。	需給調整会議等の意義や目的を住民に説明できるか。		
		② 小地区⇄地区⇄市町と、重層的に開催されている。	需給調整会議を自治会レベル、地区社交レベル等で開催しているか。		
		③ 定期的な開催を進めている。	需給調整会議等について、定例化しているか。		
		④ こねっと会議の状況を社協が把握できるようにしくみを持っている。	需給調整会議等で出された課題を社協が把握しているか。		
<b>4-5 単位自治会・町内会活動と福祉活動の一体的な展開(自治会福祉部活動)</b>					
	<b>(48) 自治会福祉部の必要性、目的、意義を共有しているか</b>				
	(全体診断の理由)	① 自治会・町内会(福祉部)と地区社協、市社協との目的、意義、必要性を明確にしている。	自治会福祉部等の目的や意義を明文化したものがあるか。		
		② 職員が理解している。	住民に対して意義や目的を説明できるか。		
	<b>(49) 自治会福祉部設置に向けた取り組み、設置推進を実施しているか</b>				
	(全体診断の理由)	① 自治会福祉部活動のメニューを提示している。	自治会福祉部で取り組む活動例を資料等で作成しているか。		
		② 自治会(町内会)連合会との連携を図っている。	自治会連合会にも自治会福祉部の必要性を共有しているか。		
	<b>(50) 継続的な活動展開ができる体制となっているか</b>				
	(全体診断の理由)	① 自治会・町内会規約(会則)の中に、福祉部を位置づけるように提案している。	会則に明文化することの意義を職員が理解しているか。		
		② 住民に活動内容を紹介している。	広報誌等を通じて自治会福祉部活動を紹介しているか。		

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a : 大変良くできている    b : できている    c : あまりできていない    d : できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み
4-6	福祉員				
	(51) 福祉員の資質向上に向けた取り組みをしているか				
	(全体診断の理由)	① 福祉員研修会を開催している。	年1回以上、福祉員を対象にした研修会を実施しているか。		
		② 定期的に情報提供をしている。	年1回以上、福祉員に対して情報提供をおこなっているか。		
		③ 民生委員・児童委員、自治会役員、老人クラブなどとの連携、役割分担が図れるように支援している。	福祉員が民生委員・児童委員、自治会役員等と連携した活動ができるように各団体等に福祉員の存在をPRしているか。		
		④ 福祉員活動を住民に紹介している。	広報誌等で、福祉員の活動を紹介しているか。		
	(52) 福祉員活動の強化のための組織づくりをしているか				
	(全体診断の理由)	① 福祉員等の地域の見守り活動者を配置している。	日常的に地域の見守りができるような福祉員の配置をしているか。		
		② 福祉員等の見守り活動者の役割や活動内容を明確にしている。	福祉員に見守りの役割や活動内容を説明できるか。		
		③ 市町範囲で福祉員連絡協議会などを組織化している。	市町範囲で福祉員が情報交換をするような連絡会を組織化しているか。		
		④ 地区範囲で福祉員連絡協議会などを組織化している。	地区範囲で福祉員が情報交換をするような連絡会を組織化しているか。		
		⑤ 小地区範囲で福祉員連絡協議会などを組織化している。	自治会等の小地域の範囲で福祉員が情報交換をするような連絡会を組織化しているか。		
		⑥ 福祉員の定例会を開催している。	福祉員が定期的集まるようなしくみをもっているか。		

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a : 大変良くできている    b : できている    c : あまりできていない    d : できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み
(53) 継続的な活動展開のための取り組みをしているか					
	(全体診断の理由)	① 任期を定めている。	福祉員の任期を定めているか。		
		② 福祉員のリーダーを養成している。	福祉員のリーダーを養成するしくみを事業化しているか。		
		③ 活動記録を取っている。	福祉員が活動記録を書くようなしくみをつくっているか。		
4-7 「小地域福祉活動計画」の策定					
(54) 「小地域福祉活動計画」策定の必要性、目的、意義を共有しているか					
	(全体診断の理由)	① 職員が理解している。	「小地域福祉活動計画」の必要性を住民に説明できるか。		
		② 住民に紹介している。	広報誌等を活用し、「小地域福祉活動計画」の必要性を住民にPRしているか。		
		③ 策定計画を持っている。	「小地域福祉活動計画」を地域で策定する計画をもっているか		
		④ 「小地域福祉活動計画」を策定している	「小地域福祉活動計画」を策定した地区があるか。		
(55) 「小地域福祉活動計画」策定に対して支援を行っているか					
	(全体診断の理由)	① 会議や研修会を開催している。	小地域福祉活動計画の策定方法等を伝える研修会を開催したことがあるか。		
		② 「小地域福祉活動計画」の策定指針を作成している。	小地域活動計画の策定方法等を示した資料があるか。		
		③ 住民に取り組みを紹介している。	広報誌等を活用し計画策定プロセス等を住民に伝えているか。		

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a:大変良くできている    b:できている    c:あまりできていない    d:できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み
	(56) 「地域福祉活動計画」、「地域福祉計画」策定につなげているか				
	(全体診断の理由)	① 「小地域福祉活動計画」と「地域福祉活動計画」、「地域福祉計画」の連動、整合性を図っている。	小地域福祉活動計画で上げられた課題を地域福祉活動計画に反映したことがあるか。		
4-8	地区社協(小地域福祉活動推進組織)への支援				
	(57) 地区社協への支援策があるか				
	(全体診断の理由)	① 将来像や育成方針がある。	地区社協の育成方針や将来像について明文化したものがあるか。		
		② 財源(補助金、助成金)の支援をしている。	地区社協の活動を活性化させるための財源補助等をしているか。		
		③ 情報提供を定期的に行っている。	地区社協に年1回以上情報提供をおこなっているか。		
		④ 研修会を実施している。	地区社協を対象にした研修会を実施しているか。		
		⑤ 定期的な企画会議の開催を提案している。	地区社協で定期的に会議を開催し集うことの意義を説明したことがあるか。		
		⑥ 拠点の整備を提案している。	地区社協の拠点整備について具体的な支援をおこなっているか。		
		⑦ コーディネーター等の配置を提案している。	地区社協の活動を活性化させるための人的基盤整備の意義を説明したことがあるか。		
		⑧ 活動・事業実施の提案、働きかけをしている。	地区社協独自の活動・事業実施の支援をおこなっているか。		
		⑨ 職員が地区社協(組織)に出向いている。	年1回以上は、各地区社協に職員がでむいているか。		

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a : 大変良くできている    b : できている    c : あまりできていない    d : できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み
4-9 ボランティア活動					
(58) 住民の福祉に対する関心を高めるような働きかけをしているか					
(全体診断の理由)		①	福祉教育等に関する講座を開催している。	子どもたちや地域の住民を対象にした福祉について理解を促がす講座を開催しているか。	
		②	福祉に関するテーマをもとに、他分野や他職種と協働で協議する場をもっている。	福祉をテーマに、他分野や他職種と協働し福祉に対する関心を高めてもらう取り組みをしているか。	
(59) 住民の自発性や主体性が発揮できる場を提案できているか					
(全体診断の理由)		①	ボランティアコーディネータ等、個別の相談に対応出来る職員がいる。	住民の自発性や主体性を尊重できるようなボランティア活動等のコーディネートを行う職員がいるか。	
		②	住民が主体的に参加できる活動の場を提案している。	住民が気軽に参加し主体的な活動を行うきっかけづくりの場をつくらしているか。	
4-10 地域福祉権利擁護事業					
(60) 対象者について、総合的なアセスメントを行っているか					
(全体診断の理由)		①	福祉サービスの利用支援や金銭管理の必要性にとどまらず、生活全体を見通したアセスメントを行っている。	福祉サービスの利用支援や金銭管理だけではない生活全体を見通したアセスメントができているか。	
		②	対象者の抱える問題の要因について、家族や近隣との関係等も含めてアセスメントを行っている。	対象者の課題の要因について家族や近隣との関係にも目を向けたアセスメントができているか。	
(61) 対象者の生活支援を行える体制づくりを意識して支援をしているか					
(全体診断の理由)		①	必要に応じて、地域担当部署等と情報を共有し地域で生活支援を行っていただける体制を検討している。	対象者の生活全体を支えるために他部署や他組織との連携体制の必要性を検討したことがあるか。	
		②	対象者の将来を予測した支援体制を検討できている。	対象者の将来を予測した支援体制の構築につとめているか。	

## 社協評価事業(社協力向上プロジェクト事業) 自己診断シート

□ 社協自己診断シート項目

(a: 大変良くできている    b: できている    c: あまりできていない    d: できていない)

診断区分	診断項目	診断の観点	観点の解説	診断 (a,b,c,d)	組織の具体的な取り組み
4-11	在宅福祉サービス				
	(62) 在宅福祉サービスを社協で実施する意味を職員が認識できているか				
	(全体診断の理由)	①	在宅福祉サービスを担当する職員と地域福祉担当職員の間で問題事例等の共有、相談の体制ができている。	住民の生活を支えるという共通の視点に立ち、サービス担当者地域福祉担当者で事例共有や相談体制ができているか。	
	②	社協らしさを意識したサービスの提供に努めている。	職員が公益性をもった社協としての使命を意識し、サービスを提供できているか。		